

一般・消化器外科学講座

原著論文

- 1 *Ide T, Kitajima Y, Ohtaka K, Mitsuno M, Nakafusa Y, Miyazaki K: Expression of the hMLHI gene is a possible predictor for the clinical response to 5-fluorouracil after a surgical resection in colorectal cancer. *Oncology Reports* 19, 1571-1576. 2008.
- 2 Kai K, Takahashi T, Miyoshi A, Yasui T, Tokunaga O, Miyazaki K: Intrahepatic multicystic biliary hamartoma: Report of a case. *Hepatology Research* 38, 629-634. 2008.
- 3 Kitajima Y, Ide T, Ohtsuka T, Miyazaki K: Induction of hepatocyte growth factor activator gene expression under hypoxia activates the hepatocyte growth factor/c-Met system via hypoxia inducible factor-1 in pancreatic cancer. *Cancer Science* 99: 7, 1341-1347. 2008.
- 4 北島吉彦, 宮崎耕治: What's New in SURGERY FRONTIER 炎症と発癌④ HIF-1 α . *Surgery Frontier* 15: 3, 304-306. 2008.
- 5 *Matsuyama S, Shimonishi T, Yoshimura H, Higaki K, Nasu K, Toyooka M, Aoki S, Watanabe K, Sugihara H: An autopsy case of granulocyte-coklony stimulating-factor-producing extra-hepatic bile duct carcinoma. *World J Gastroenterol* 14: 18, 2924-2927. 2008.
- 6 三好 篤, 中房祐司, 佐藤清治, 宮崎耕治: 術後壊死性筋膜炎症例の検討. *日本腹部救急医学会誌* 28: 5, 649-654. 2008.
- 7 Nakafusa Y, Tanaka M, Ohtsuka T, Miyoshi A, Kohya N, Kitajima Y, Sato S, Mochinaga S, Dohi S, Miyazaki K: Phase I/II study of combination therapy with S-1 and CPT-11 for metastatic colorectal cancer. *Molecular Medicine Reports* 1, 925-930. 2008.
- 8 *太田 竜, 田中聡也, 北原賢二: 後腹膜気腫を生じ大氣的に手術を行った特発性直腸穿孔の一例. *日本臨床外科学会雑誌* 69: 5, 1151-1155. 2008.
- 9 Ohtaka K, Kohya N, Sato K, Kitajima Y, Ide T, Mitsuno M, Miyazaki K: Ribonucleotide reductase subunit M1 is a possible chemoresistance marker to gemcitabine in biliary tract carcinoma. *Oncology Reports* 20, 279-286. 2008.
- 10 大塚隆生, 明石道昭, 神谷尚彦, : 胆道再建術. *消化器外科* 31: 13, 2005-2014. 2008.
- 11 大塚隆生, 甲斐敬太, 宮崎耕治: どこまで切除するか一両・悪性境界型腫瘍性病変—「胆管腫瘍」 Biliary neoplasm. *Surgery Frontier* 15: 3, 264-270. 2008.
- 12 Ohtsuka T, Sato S, Kitajima Y, Tanaka M, Nakafusa Y, Miyazaki K: False positive findings for tumor markers after curative gastrectomy for gastric cancer. *Dig Dis Sci* 53, 73-79. 2008.
- 13 Ohtsuka T, Mitsuno M, Kitajima Y, Ide T, Sam W Lee, Miyazaki K: Role of ASC in hypoxia-mediated cell death in pancreatic cancer. *Molecular Medicine Reports* 1, 827-831. 2008.
- 14 Ohtsuka T, Nakafusa Y, Sato S, Kitajima Y, Tanaka M, Miyazaki K: Different roles of tumor marker monitoring after curative resections of gastric and colorectal cancer. *Dig Dis Sci* 53, 1537-1543. 2008.
- 15 *Sadakari Y, Miyoshi A, Ohtsuka T, Kohya N, Takahashi T, Matsumoto K, Miyazaki K: Bile leakage after hepatic resection successfully treated by a percutaneous transhepatic portal embolization: Report of a case. *Surg Today* 38, 668-671. 2008.

- 16 *Yakabe S, Soejima H, Yatsuki H, Tominaga H, Wei Zhao, Higashimoto K, Joh K, Kudo S, Miyazaki K, Mukai T: MeCP2 knockdown reveals DNA methylation-independent gene repression of target genes in living cells and a bias in the cellular location of target gene products. *Genes Genet. Syst.* 83, 199-208. 2008.

総 説

- 1 中房祐司, 大塚隆生, 三好 篤, 田中雅之, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 下部直腸手術における視野展開の工夫: 骨盤底挙上器について. *手術* 62: 7, 977-981. 2008.

学会発表

国際規模の学会

- 1 Kai K, Kitajima Y, Hashiguchi K, Tokunaga O, Miyazaki K: Protein ratio of OPRT/TS or OPRT/(TS+DPD) evaluated by quantitative double fluorescence immunohistochemistry is a useful tool to predict drug efficacy of S-1 for gastric cancer. AACR annual meeting 2008. 2008, 4, 12-16. *Proceedings* 49, 363.
- 2 Ohtsuka T, Mitsuno M, Ide T, Kitajima Y, Miyazaki K: Possible mechanism of chemoresistance under hypoxia and the effect of expressed ASC on hypoxia-mediated cell death in pancreatic cancer. AACR annual meeting 2008. 2008, 4, 12-16. *Proceedings supplement: Late-Breaking Abstracts* 15.
- 3 Kitajima Y, Mitsuno M, Hashiguchi K, Nakamura J, Hiraki M, Miyazaki K: Tranilast increased the drug effect of gemcitabine via protein degradation of RRM1 in pancreatic cancer cells. AACR annual meeting 2008. 2008, 4, 12-16. *Proceedings* 49, 794.

全国規模の学会

- 1 橋口和義, 光野真由美, 北島吉彦, 大高和真, 平木将紹, 中村 淳, 神谷尚彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 胆道癌細胞株における Tranilast の RRM1 発現抑制効果を介した Gemcitabine 感受性補強作用. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. *日本外科学会雑誌臨時増刊号(2)* 236.
- 2 橋口和義, 北島吉彦, 甲斐敬太, 平木将紹, 中村 淳, 中房祐司, 徳永 藏, 宮崎耕治: Quantitative double fluorescence IHC (qDFIHC) による胃癌術後化学療法の適応診断. 第19回日本消化器癌発生学会. 2008, 8, 28-29. *プログラム・抄録集* 127.
- 3 橋口和義, 北島吉彦, 甲斐敬太, 平木将紹, 中村 淳, 神谷尚彦, 徳永 藏, 宮崎耕治: 蛍光二重免疫染色法 (qDFIHC) による胃癌化学療法の適応診断. 第67回日本癌学会学術集会. 2008, 10, 28-30. *PROCEEDINGS* 391.
- 4 林 章裕, 福山 恵, 前間真弓, 川崎誠司, 田中雅之, 佐藤清治: 出血傾向により低リン血症の補正に難渋した高度進行胃癌の一例. 第23回日本静脈経腸栄養学会. 2008, 2, 21. *日本静脈経腸栄養学会機関誌* 23: 増刊号, 368.
- 5 Masatsugu Hiraki, Yoshihiko Kitajima, Kazuyoshi Hashiguchi, Jun Nakamura, Mayumi Mitsuno, Masayuki Tanaka, Seiji Sato, Yuji Nakafusa, Kohji Miyazaki: The significance of aberrant methylation in metastatic lesions of the gastric cancer. 第80回日本胃癌学会総会. 2008, 2, 27-29. *第80回日本胃癌学会総会記事* 116.
- 6 平木将紹, 北島吉彦, 古賀靖大, 光野真由美, 橋口和義, 中村 淳, 田中雅之, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃癌組織の CHFR 遺伝子メチル化とタキサン系抗癌剤感受性との比較検討. 第108

- 回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌臨時増刊号(2) 606.
- 7 平木将紹, 北島吉彦, 光野真由美, 橋口和義, 中村 淳, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃癌患者の血液・腹水における p16 および CHFR 遺伝子メチル化検索の意義. 第19回日本消化器癌発生学会. 2008, 8, 28-29. プログラム・抄録集 173.
 - 8 平木将紹, 三好 篤, 橋口和義, 北島吉彦, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 敗血症における臓器障害指標としてのプロカルトシニン値測定の意義. 第44回日本腹部救急医学会. 2008, 3, 14-15. 日本腹部救急医学会雑誌 28: 2, 258.
 - 9 平木将紹, 北島吉彦, 橋口和義, 中村 淳, 光野真由美, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃癌転移巣におけるメチル化診断の意義. 第67回日本癌学会学術集会. 2008, 10, 28-30. PROCEEDINGS 176.
 - 10 甲斐敬太, 三好 篤, 高橋知秀, 三宅修輔, 徳永 藏, 宮崎耕治: 症例. 第44回日本肝癌研究会. 2008, 5, 22-23. プログラム・抄録集 140.
 - 11 北島吉彦, 甲斐敬太, 橋口和義, 田中雅之, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: Quantitative double fluorescence IHC (qDFIHC) による胃癌術後化学療法の適応診断. 第80回日本胃癌学会総会. 2008, 2, 27-29. 第80回日本胃癌学会総会記事 171.
 - 12 北島吉彦, 光野真由美, 平木将紹, 田中雅之, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: S-1 による胃癌術後化学療法後再発と癌抑制遺伝子 p16 発現との相関解析. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 252.
 - 13 北島吉彦: 胃 症例 3. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 166.
 - 14 北島吉彦, 光野真由美, 橋口和義, 中村 淳, 平木将紹, 大塚隆生, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 膵癌における Tranilast の RRM1発現抑制効果に基づいた Tranilast+Gemcitabine (dFdC) 併用療法の可能性. 第19回日本消化器癌発生学会. 2008, 8, 28-29. プログラム・抄録集 134.
 - 15 北原賢二, 神谷尚彦, 三好 篤, 大塚隆生, 小林毅一郎, 田中智和, 森 泰寿, 中房祐司, 宮崎耕治: 肝門部胆管癌における術式の工夫. 第70回日本臨床外科学会総会. 2008, 11, 27-29. 日本臨床外科学会雑誌 69: 増刊号, 398.
 - 16 小池健太, 中房祐司, 江頭玲子, 中園貴彦, 徳丸直郎, 甲斐敬太, 山崎文郎, 徳永 藏, 宮崎耕治: 70歳以上高齢者乳癌の臨床病理学的検討. 第16回日本乳癌学会学術総会. 2008, 9, 26-27. プログラム・抄録集 312.
 - 17 神谷尚彦, 三好 篤, 大塚隆生, 宮崎耕治: 術後5年以上生存例における進行胆嚢癌治療の検討. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 164.
 - 18 神谷尚彦, 三好 篤, 大塚隆生, 宮崎耕治: 進行胆嚢癌に対する肝 S4a5 切除における MDCT パーチャル画像を用いた門脈走行の術前予測の有用性について. 第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2008, 5, 28-30. プログラム・抄録集 149.
 - 19 神谷尚彦, 三好 篤, 大塚隆生, 北原賢二, 宮崎耕治: 胆嚢癌における Stage 別標準術式の検討. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 469.
 - 20 古賀浩木, 隅 健次, 中房祐司, 宮崎耕治: 切除不能進行大腸癌に対し mFOLFOX6 による術前化学療法は奏効し切除可能となった2例. 第70回日本臨床外科学会総会. 2008, 11, 27-29. 日本臨床外科学会雑誌 69: 増刊号, 514.

- 21 *小林毅一郎, 井手野昇, 高浪英樹, 小菌真吾, 村上聡一郎, 小倉康裕, 中村勝也, 川本雅彦, 石川幹真, 能城浩和, 内山明彦: 新しいポート位置での腹腔鏡下胆嚢摘出術の試み〜より高度な腹腔鏡手術のトレーニングとして〜. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 382.
- 22 *光野真由美, 北島吉彦, 平木将紹, 橋口和義, 中村 淳, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 膵癌に対する RRM1 を分子標的とした Tranilast+Gemcitabine 併用療法の可能性. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 351.
- 23 三宅修輔, 大塚隆生, 佐藤清治, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃癌切除後の S-1 化学療法中の赤血球大球化. 第80回日本胃癌学会総会. 2008, 2, 27-29. 第80回日本胃癌学会総会記事 165.
- 24 三宅修輔, 三好 篤, 高橋知秀, 大塚隆生, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 当科における中期及び長期生存肝細胞癌症例の検討. 第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2008, 5, 28-30. プログラム・抄録集 263.
- 25 三宅修輔, 神谷尚彦, 三好 篤, 大塚隆生, 北原賢二, 宮崎耕治: 再発胆道癌に対する集学的治療法の検討. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 564.
- 26 三好 篤, 高橋知秀, 大塚隆生, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 3D CT simulation による門脈分岐形態の把握と系統的肝切除の有用性. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 433.
- 27 三好 篤, 高橋知秀, 大塚隆生, 神谷尚彦, 北原賢二, 宮崎耕治: 非B非C型肝細胞癌切除例の検討. 第44回日本肝臓研究会. 2008, 5, 22-23. プログラム・抄録集 148.
- 28 三好 篤, 高橋知秀, 三宅修輔, 大塚隆生, 神谷尚彦, 宮崎耕治: 3D CT simulation による肝内門脈分岐形態と系統的肝切除. 第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会. 2008, 5, 28-30. プログラム・抄録集 180.
- 29 三好 篤, 高橋知秀, 大塚隆生, 神谷尚彦, 北原賢二, 宮崎耕治: 再発肝臓癌症例に対する再肝切除の意義. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 549.
- 30 *森戸清人, 三好 篤, 貞苅良彦, 北島吉彦, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 3D-CT シミュレーション後に根治術を行った難治性小腸瘻の1例. 第44回日本腹部救急医学会. 2008, 3, 14-15. 日本腹部救急医学会雑誌 28: 2, 381.
- 31 森 泰寿, 大塚隆生, 小林毅一郎, 三好 篤, 神谷尚彦, 北原賢二, 中房祐司, 宮崎耕治: 鑑別を要した膵嚢胞性疾患の4例. 第70回日本臨床外科学会総会. 2008, 11, 27-29. 日本臨床外科学会雑誌 69: 増刊号, 637.
- 32 中房祐司, 大塚隆生, 田中雅之, 三好 篤, 神谷尚彦, 高橋知秀, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 進行直腸癌の進展度診断における MRI の意義: MRI と CT の比較から. 第108回日本外科学会定期学術集会. 2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 476.
- 33 中房祐司, 大塚隆生, 田中雅之, 三好 篤, 神谷尚彦, 北島吉彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 大腸癌における術中大量出血と術後再発. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 427.
- 34 中房祐司, 大塚隆生, 村上聡一郎, 北島吉彦, 三好 篤, 神谷尚彦, 佐藤清治, 宮崎耕治: 腹腔鏡

- 手術により子宮癌幽門リンパ節再発およびS状結腸癌・上行結腸癌を切除した症例。第21回日本内視鏡外科学会総会。2008, 9, 2-5. 日本内視鏡外科学会雑誌 13: 7, 294.
- 35 中房祐司, 小池健太, 甲斐敬太, 宮崎耕治: 当院における triple negative 乳癌の検討。第16回日本乳癌学会学術総会。2008, 9, 26-27. プログラム・抄録集 440.
- 36 中房祐司, 矢ヶ部知美, 隅 健次, 明石道昭, 宮崎耕治: 初再発部位と再発発見法からみた大腸癌術後サーベイランス。第63回日本大腸肛門病学会学術集会。2008, 10, 17. プログラム・抄録集 619.
- 37 *中村 淳, 神谷尚彦, 橋口和義, 甲斐敬太, 大高和真, 光野真由美, 平木将紹, 北島吉彦, 宮崎耕治: 胆道癌細胞株における Gemcitabine 感受性マーカーの検討。第108回日本外科学会定期学術集会。2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 237.
- 38 *中村 淳, 神谷尚彦, 橋口和義, 甲斐敬太, 大高和真, 光野真由美, 平木将紹, 北島吉彦, 宮崎耕治: 胆道癌における Gemcitabine 感受性マーカーの検討。第19回日本消化器癌発生学会。2008, 8, 28-29. プログラム・抄録集 136.
- 39 中村 淳, 北島吉彦, 甲斐敬太, 橋口和義, 光野真由美, 平木将紹, 宮崎耕治: 胃癌先進部における HIF-1 α の発現とリンパ節転移。第67回日本癌学会学術集会。2008, 10, 28-30. PROCEEDINGS 420.
- 40 大塚隆生: 膵内分泌腫瘍。第94回日本消化器病学会総会ポストグラデュエイトコース。2008, 5, 10. 日本消化器病学会総会抄録集 111.
- 41 大塚隆生, 井手貴雄, 光野真由美, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 低酸素環境下での膵癌における癌抑制遺伝子 ASC の役割および ASC 遺伝子導入の効果。第108回日本外科学会定期学術集会。2008, 5, 15-17. 日本外科学会雑誌 臨時増刊号(2), 196.
- 42 大塚隆生, 佐藤清治, 北島吉彦, 三好 篤, 神谷尚彦, 高橋知秀, 中房祐司, 宮崎耕治: 上腹部消化器癌術後の感染性合併症は早期肝転移再発の危険因子である。第20回日本肝胆膵外科学会・学術集会。2008, 5, 28-30. プログラム・抄録集 296.
- 43 大塚隆生, 中房祐司, 佐藤清治, 北島吉彦, 宮崎耕治: 偽陽性からみた胃癌および大腸癌根治術後の腫瘍マーカー測定の意義。第63回日本消化器外科学会総会。2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 488.
- 44 大塚隆生, 高橋知秀, 村上聡一郎, 神谷尚彦, 三好 篤, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 3D-CT 画像構築が特殊な解剖形態解析に有用であった完全内臓逆位症に対する腹腔鏡下胆嚢摘出術の1例。第21回日本内視鏡外科学会総会。2008, 9, 2-5. 日本内視鏡外科学会雑誌 13: 7, 324.
- 45 *佐藤清治, 大塚隆生, 田中雅之, 三好 篤, 神谷尚彦, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治: 切除不能幽門側胃癌に対する不完全空置的胃空調吻合術+Roux en Y 法。第80回日本胃癌学会総会。2008, 2, 27-29. 第80回日本胃癌学会総会記事 275.
- 46 佐藤清治: 胃 症例4。第63回日本消化器外科学会総会。2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 166.
- 47 *鮫島隆一郎, 湯ノ谷誠二: 胃全摘術後におけるビタミンB₁₂経口投与の意義。第63回日本消化器外科学会。2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 763.
- 48 篠崎由香里, 宮崎耕治, 吉田裕樹: 抗腫瘍効果誘導メカニズムにおける IL27 のT細胞および樹状細胞に対する2つの働き。第67回日本癌学会学術集会。2008, 10, 28-30. PROCEEDINGS 198.

- 49 *田中聡也, 與田幸恵, 大高和真, 北原賢二: 胃原発 GIST の腹膜播腫に Imatinib Mesilate の少量投与が有効であった一例. 第6回日本臨床腫瘍学会学術集会. 2008, 3, 20-22.
- 50 *田中聡也, 與田幸恵, 大高和真, 北原賢二: 直腸脱に対する Delorme 法の工夫-観音開きによる粘膜切除. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7.
- 51 田中智和, 大塚隆生, 小林毅一郎, 三好 篤, 神谷尚彦, 北原賢二, 中房祐司, 宮崎耕治: 当科における切除不能腭頭部領域癌に対するダブルバイパス術の工夫. 第70回日本臨床外科学会総会. 2008, 11, 27-29. 日本臨床外科学会雑誌 69: 増刊号, 520.
- 52 *田中雅之, 佐藤清治, 福岡麻美, 水田敏彦, 林 章裕, 福山 恵: PPN におけるカテーテル関連菌血症発生の検討. 第23回日本静脈経腸栄養学会. 2008, 2, 21. 日本静脈経腸栄養学会機関誌 23: 増刊号, 345.
- 53 *矢ヶ部伸也, 石光寿幸, 田淵正延, 酒井 正, 鮫島隆一郎, 湯ノ谷誠二: 希有な形態を呈した腭頭部漿液性嚢胞腺腫の一例. 第63回日本消化器外科学会総会. 2008, 7, 16-18. 日本消化器外科学会雑誌 41: 7, 616.
- 54 矢ヶ部知美: antibiotic-associated diarrhea (AAD) 予防に対する GFO 療法の有用性. 第23回日本静脈経腸栄養学会. 2008, 2, 21. 日本静脈経腸栄養学会機関誌 23: 増刊号, 162.
- 55 矢ヶ部知美, 隅 健次, 中房祐司, 宮崎耕治: T2 直腸癌の特徴とリンパ節転移. 第70回日本臨床外科学会総会. 2008, 11, 27-29. 日本臨床外科学会雑誌 69: 増刊号, 755.

地方規模の学会

- 1 三宅修輔, 三好 篤, 大塚隆生, 北島吉彦, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 胃癌穿孔に対し保存的加療後に根治術を施行した2例. 第45回九州外科学会. 2008, 4, 11-12. 合同プログラム・抄録集 50.
- 2 三好 篤, 北原賢二, 浦田雅子, 大塚隆生, 神谷尚彦, 宮崎耕治: HCV 関連細胞癌に対する治療戦略. 第30回九州肝臓外科研究会. 2008, 7, 26. 抄録集 50.
- 3 *村上聡一郎, 大塚隆生, 佐藤清治, 中房祐司, 宮崎耕治: 子宮癌術後13年目に右胃大網道脈領域リンパ節再発を来した一例. 第45回九州外科学会. 2008, 4, 11-12. 合同プログラム・抄録集 73.
- 4 中房祐司: 肥満患者の腹腔鏡下右半結腸切除術. 第18回福岡大腸手術手技研究会. 2008, 10, 10.
- 5 *田中智和, 田淵正延, 矢ヶ部伸也, 酒井 正, 鮫島隆一郎, 石光寿幸, 湯ノ谷誠二: von Hippel-Lindau 病に合併した腭漿液性嚢胞腫瘍の一例. 第45回九州外科学会. 2008, 4, 11-12. 合同プログラム・抄録集 71.
- 6 浦田雅子, 三好 篤, 大塚隆生, 神谷尚彦, 北原賢二, 宮崎耕治: 肝転移巣の切迫破裂を契機に診断された胃原発 hepatoid adenocarcinoma の一例. 第30回九州肝臓外科研究会. 2008, 7, 26. 抄録集 22.
- 7 *矢ヶ部伸也, 酒井 正, 鮫島隆一郎, 石光寿幸, 田淵正延, 湯ノ谷誠二: 腸管嚢胞様気腫症の2例. 第45回九州外科学会. 2008, 4, 11-12. 合同プログラム・抄録集 57.
- 8 矢ヶ部知美, 中房祐司, 松山 悟, 隅 健次, 三好 篤, 宮崎耕治: 大腸癌肝転移に対する肝切除後再発の検討. 第33回日本大腸肛門病学会九州地方会. 2008, 11, 15. プログラム・抄録集 48.
- 9 *山地康大郎, 鮫島隆一郎, 樋口健吾, 光野真由美, 酒井 正, 井久保丹, 田淵正延, 湯ノ谷誠二: 放射線併用 S-1+少量分割 CDDP にて CR を得た食道癌の一例. 第41回日本胸部外科学会九州地方回総会. 2008, 7, 24-25. 抄録集 59.

その他の学会

- 1 *萩原 淳：再発性鼠径ヘルニア腹腔鏡下手術。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.
- 2 神谷尚彦：症例報告〈アバスチンの使用経験〉。進行大腸癌シンポジウム。2008, 11, 14.
- 3 古賀浩木：エコーガイド下に整復し待機的に腹腔鏡下に手術を行った左閉鎖孔ヘルニアの1例。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.
- 4 *松倉史朗：メッシュプラグ法による鼠径ヘルニア修復術後に発症し腹腔鏡下に修復しえた両側大腿および右膀胱上ヘルニアの1例。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.
- 5 *光野真由美, 田淵正延, 山地康太郎, 酒井 正, 鮫島隆一郎, 井久保丹, 湯ノ谷誠二：急性膵炎を伴った膵癌の1例。第49回佐賀胆・膵研究会。2008, 6, 9.
- 6 *光野真由美, 酒井 正, 山地康太郎, 鮫島隆一郎, 井久保丹, 田淵正延, 湯ノ谷誠二, 野田隆博：小腸 GIST の1 経験例。第29回佐賀県消化器癌懇話会。2008, 6, 23.
- 7 三宅修輔：当科における自己免疫性膵炎と胆管病変の検討。第50回佐賀胆膵研究会。2008, 10, 24.
- 8 森 泰寿, 大塚隆生, 小林毅一郎, 三好 篤, 神谷尚彦, 北原賢二, 宮崎耕治：尾側膵腫大病変の1例。第49回佐賀胆・膵研究会。2008, 6, 9.
- 9 森戸清人：リピオドールリンパ管造影にて軽快した乳癭腹水の一例。第22回佐賀消化器アーベント。2008, 2, 6.
- 10 中川内哲治：当院における鼠径ヘルニア修復術(メッシュプラグ法)。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.
- 11 大塚隆生：Expert に学ぶ腹腔鏡下胃癌手術 症例提示1。第23回佐賀消化器外科アーベント。2008, 9, 12.
- 12 隅 健次, 三宅修輔, 矢ヶ部知美, 田中雅之, 北島吉彦, 中房祐司, 宮崎耕治：mFOLFOX6 が奏功し, 原発巣切除可能となった進行直腸癌の1例。第29回佐賀県消化器癌懇話会。2008, 6, 23.
- 13 田中智和：胆嚢捻転症の1例。第22回佐賀消化器アーベント。2008, 2, 6.
- 14 浦田雅子：内鼠径ヘルニア (meshu-plug 法)。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.
- 15 浦田雅子：Component Separation 法による腹壁癒痕ヘルニア修復術。第22回佐賀消化器アーベント。2008, 2, 6.
- 16 矢ヶ部知美：T2 直腸癌の特徴とリンパ節転移。第1回九州大腸がん懇話会。2008, 1, 19.
- 17 *山梨万梨子, 矢ヶ部伸也, 石光寿幸：当院における研修医による標準的鼠径ヘルニア手術。第24回佐賀外科手術手技懇話会。2008, 1, 30.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
教授	宮崎 耕治	平成20年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	分子イメージングによるプロテオミックス解析の消化器癌個別化治療への応用	2,300
講師	北島 吉彦	平成20年度科学研究費補助金	基盤研究(C)	膀胱癌のジェムシタピン効果を増強させる MMKY-01 の基礎的研究	2,700
助教	大塚 隆生	平成20年度科学研究費補助金	若手研究(B)	膀胱癌治療における癌抑制遺伝子	900
研究員	佐藤 建	平成20年度科学研究費補助金	若手研究(B)	胆道癌における感受性マーカーに基づく GEM+TS-1 併用療法の個別化に向けた研究	100
准教授 大学院生	中房 祐司 明石 道昭	平成20年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者 育成事業 【臨床】	直腸癌における術前進展度診断精度の向上に関する研究：画像所見と病理学所見の詳細な検討 (代表：中房 祐司)	500
講師	大塚 隆生	平成20年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者 育成事業 【臨床】	胃癌根治術後における腫瘍マーカー測定の意味：高頻度に見られるマーカー偽陽性とその機序の解明	500
助教	隅 健次	平成20年度佐賀大学中期計画実行経費	医学部研究者 育成事業 【臨床】	直腸癌に対する究極の肛門温存手術に関する研究：内括約筋切除後の肛門機能と QOL の評価	500